

リリースノート

hp StorageWorks NAS B2000

製品バージョン: 2.2

初版 (2002年11月)

製品番号: 292284-193

このリリースノートでは、NASソフトウェアイメージバージョン2.2を実行するHP StorageWorks NAS B2000について説明します。他の資料に記載されていない重要な情報を提供します。

このリリースノートやその他のNAS B2000関連マニュアルの最新バージョンについては、HPのストレージのWebサイト <http://thenew.hp.com/country/us/eng/prodserv/storage.html> (英語) にアクセスしてください。



292284-193

© Hewlett-Packard Company, 2002.
© 日本ヒューレット・パッカード株式会社、2002

Hewlett-Packard Companyは、本書についていかなる保証（商品性および特定の目的のための適合性に関する黙示の保証を含む）も与えるものではありません。Hewlett-Packard Companyは、本書中の誤りに対して、また本書の供給、機能または使用に関連して生じた付随的損害、派生的損害または間接的損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護されている機密情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packardの事前の書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他の言語に翻訳することはできません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

Compaq Computer Corporationは、Hewlett-Packard Companyの完全所有子会社です。

Microsoft、MS-DOS、WindowsおよびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Motif、OSF/1およびUNIXは、The Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。

The "X device"、IT DialToneおよびThe Open Groupは、The Open Groupの米国ならびに他の国における商標です。

本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、そのままの状態を提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett-Packard Company製品に対する保証については、当該製品に付属の限定保証書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

NAS B2000リリース ノート
初版（2002年11月）
製品番号: 292284-193

リリース ノートの内容

このリリース ノートでは、次の主要な項目について説明します。

- Services for UNIX (SFU)、4ページ
- Webユーザ インタフェース、9ページ
- NASのWebユーザ インタフェース、10ページ
- Microsoft社製オペレーティング システム、12ページ
- クイック リストア プロセス、13ページ
- リリース ノート、14ページ

対象読者

このリリース ノートは、HP StorageWorks NAS B2000のメンテナンスや保守作業を行う管理者を対象としています。

他のNAS B2000関連マニュアル

その他の資料 (White Paper、ベスト プラクティスなど) は、HPのWebサイト<http://www.hp.com/> (英語) から入手できます。

Services for UNIX (SFU)

この項では、SFUのサポートに関する次の項目について説明します。

- NFS (Network File System) のパフォーマンス、4ページ
- WebUIからクライアント グループにNFSアクセス権を割り当てることができない、5ページ
- WebUIからhttp共有やftp共有を削除できない場合がある、9ページ

NFS (Network File System) のパフォーマンス

NFSのパフォーマンスは、同期書き込み (デフォルト) から非同期書き込みに変更する際、向上します。同期書き込みと非同期書き込みを切り替えるには、WebUIを開き、[共有]、[共有プロトコル]の順にクリックし、[NFS Protocol]を選択して、[Properties]をクリックします。[NFS非同期/同期設定]ボタンをクリックすると、同期書き込みと非同期書き込みが切り替わります。

注: 同期書き込みと非同期書き込みを切り替えたら、NFSサーバサービスを再起動する必要があります。サービスを再起動する前に、すべてのユーザに通知してください。

同期書き込みと非同期書き込みを切り替えるときは、以下の点に注意してください。

1. Services for Unixのキャッシュ設定が非同期書き込み (**キャッシング オン**) になっている場合、実際の書き込みが、Server for NFSのキャッシュに対して実行されただけの場合でも、ストレージに対するすべての書き込みが正常に終了したとクライアントによって判断されます。
2. 非同期書き込みの場合: Server for NFSは、NFSクライアントにデータが正常にディスクに書き込まれたことを知らせますが、データはまだキャッシュに保存されており、ディスクへの書き込みを待っています。そのため、たとえば、データがまだキャッシュに存在しているときにServer for NFSサーバの電源が切れると、ファイルが破損する場合があります。このとき、NFSクライアントは、データが安全にディスクに書き込まれたと判断しますが、実際にはデータが消失しています。
3. 同期書き込み (**キャッシング オフ**) では、応答が送信される前に、ディスクへのすべての書き込みが、ただちに終了します。**同期書き込み**を使用すると、NFSファイルの書き込みが頻繁に遅くなりますが、安定性とデータの整合性が向上します。



警告: Services for Unixサーバの問題 (システムが停止する、応答しなくなる、電源が落ちる、その他の重大な問題が発生するなど) によってキャッシュの内容が消失し、ファイルが破損してもよい場合だけ、非同期書き込みをオンにしてください。

nfsstat -zでNFS統計カウンタがリセットされない

カウンタは、NFS Serverサービスを停止し、再起動すると、手動でクリアできます。

注: サービスを再起動する前にすべてのユーザに通知してください。

WebUIからクライアント グループにNFSアクセス権を割り当てることができない

WebUIを使用してクライアント グループにNFSアクセス権を割り当てると、次のエラーが発生します。

クライアント マシン名`client_group_name`を解決できませんでした。

以下の手順に従って、クライアント グループにNFSアクセス権を割り当ててください。

1. ターミナル サービスを開きます。
2. Windowsエクスプローラを開きます。
3. クライアント グループにNFS共有アクセス権を割り当てます。

Webユーザ インタフェースによるNFSアクセス権の割り当て

WebUIからNFS共有を作成するときにクライアント アクセス権とALL MACHINESアクセス権が同じ場合、NFS共有は、「ALL MACHINESアクセス権なし」で作成されます。クライアント アクセス権は正しく設定されます。

例:

ALL MACHINESのNFS共有アクセス権が読み取り専用で、特定のクライアントにも読み取り専用を割り当てると、ALL MACHINESにはアクセス権なしが割り当てられます。この場合、特定のクライアントだけがNFS共有に読み取り専用アクセスでき、他のすべてのマシンはNFS共有にアクセスできなくなります。

NFSログ

B2000へアクセスしているWebインタフェースからのNFSログの操作では、ログを削除できません。NFSログを削除するオプションは、WebUIの[メンテナンス]にあり、[ログ]、[NFSログ]の順に選択し、[Clear]ボタンをクリックします。[Clear]ボタンをクリックすると、確認画面が表示されます。[OK]をクリックして削除を確認すると、次のエラー メッセージが表示されます。

エラー: 共有違反です。ソース ファイルまたは出力先ファイルが使用されています。

管理者は、Server for NFSを停止してからログを削除することができます。

なお、このとき、B2000上のNFS共有にアクセスしようとするすべてのユーザの要求が中断されます。

1. B2000のWebユーザ インタフェースを開きます。
2. [メンテナンス]、[ターミナル サービス]の順にクリックし、ログインします。
3. [マイ コンピュータ]アイコンを右クリックし、[管理]を選択します。
4. 管理ツリーの[サービス]部分を開きます。
5. Server for NFSサービスを選択して、停止します。

以上で、Webインタフェースからログを削除できるようになります。

6. Server for NFSサービスを開始します。

NFS管理共有のサポート

CIFSと異なり、SFUは、管理共有をサポートしていません。デフォルトで、ボリュームドライブ（たとえば、C:) は、CS\$としてCIFS共有されます。これは管理共有の例であり、CIFSクライアントからは認識できません。NFS共有を作成し、この例のようにドライブ\$という名前を設定すると、共有はNFSクライアントから認識されます。このNFS共有は、通常のNFS共有として機能します。

ボリュームのマウントポイントのサポート

マウントポイントにマウントされたディスクにNFS共有を作成しようとする、「NFSドライブにIOCTLを書き込むことができません。」というエラーが発生します。

HP StorageWorks NAS B2000は、UNIXクライアントやLinuxクライアント用のNFSプロトコルなど、多くのネットワーク共有プロトコルをサポートしています。NFSプロトコルを有効にする共有は、ドライブ文字を割り当ててマウントされている論理ディスクに作成する必要があります。Microsoft Windowsオペレーティングシステムでは、すでにドライブ文字を割り当ててマウントされている別のディスクに作成されたマウントポイントまたはリパースポイントに、仮想ディスクをマウントすることができます。

マウントポイントを使用すると、管理者は、単一ドライブ文字のマウントポイントに多数のディスクデバイスをマウントして、連続した名前空間を持つ大きなディスクドライブを作成することができます。ただし、Microsoft Services for UNIX (SFU) NFS Serverは、まだマウントポイントの機能をサポートしていません。

NFS共有に使用するすべての論理ディスクは、リパースポイントやマウントポイントでなく、ドライブ文字を割り当ててマウントする必要があります。特定の論理ディスクにNFS共有を作成しない場合、この仮想ディスクは、ドライブ文字を割り当てる代わりにマウントポイントにマウントできます。

SFU管理者がドメインにログインしていない場合、管理者がSFUマッピングのドメインユーザとグループを表示したり、マップすることができない

管理者は、ドメインユーザとグループをマップする前に、ドメインにログインする必要があります。管理者がドメインにログインしていない場合、ドメインユーザやグループは表示されず、Windowsユーザやグループをマップできません。

パスワード同期化ユーティリティが、管理UIのないドメインコントローラで正しく動作しない

StorageWorks NAS B2000のc:\SFUにあるsfucustom.msiファイルは、ドメインコントローラにパスワード同期化ユーティリティ用の管理UIをインストールしません。

管理UIは、以下を設定するために使用します。

- パスワード同期化の方向
- 暗号鍵
- ポート番号
- パスワード同期の再試行回数
- 同期化するUNIXシステム

注: NFS認証ツールとパスワード同期化ユーティリティは、別々にインストールしたり、一緒にインストールすることができます。手順は、以下のとおりです。

ドメインコントローラにパスワード同期化ユーティリティだけをインストールする手順 (NFS認証ツールは含まれない) :

1. B2000のc:\WINNT\bin\SFUディレクトリの共有を許可します。
net share SFU=C:\WINNT\bin\SFU
2. ドメインコントローラで、共有に接続します。
net use Z:\%NAS_machine_name%\SFU
3. ドメインコントローラから、接続したB2000共有のルートにディレクトリを変更します。
cd /d Z:\
4. ドメインコントローラで、インストールプログラムを実行します。
OemSetup.msi ADDLOCAL=PasswdSync SFUDIR=C:\SFU
OEMINSTALL=TRUE SOURCELIST=Z:\ /1*v %temp%\sfusetup.log /q
5. ドメインコントローラを再起動します。
6. パスワード同期化ユーティリティをインストールした後、正しく動作させるには、ドメインコントローラを手動で再起動する必要があります。
7. ドメインコントローラで管理UIを実行し、パスワード同期化ユーティリティをセットアップします。
8. **[スタート]**メニューから、**[プログラム]**、**[Windows Services for UNIX]**、**[Services for UNIX Administration]**の順にクリックします。

ドメインコントローラにNFS認証ツールだけをインストールする手順 (パスワード同期化ユーティリティは含まれない) :

HP StorageWorks B2000アドミニストレーションガイドに記載されている手順を参照してください。

ドメイン コントローラにNFS認証ツールとパスワード同期化ユーティリティをインストールする手順:

1. B2000のc:\WINNT\bin\SFUディレクトリの共有を許可します。
`net share SFU=C:\WINNT\bin\SFU`
2. ドメイン コントローラで、共有に接続します。
`net use Z:\NAS_machine_name\SFU`
3. ドメイン コントローラから、接続したB2000共有のルートにディレクトリを変更します。
`cd /d Z:\`
4. ドメイン コントローラで、次の順序でインストールプログラムを実行します。
`OemSetup.msi ADDLOCAL=NFSserverAuth SFUDIR=c:\SFU
OEMINSTALL=TRUE SOURCELIST=Z:\ /l*v %temp%\sfusetup.log /q
OemSetup.msi ADDLOCAL=PasswdSync SFUDIR=c:\SFU
OEMINSTALL=TRUE SOURCELIST=Z:\ /l*v %temp%\sfusetup.log /q`
5. パスワード同期化ユーティリティをインストールした後、正しく動作させるには、ドメイン コントローラを手動で再起動する必要があります。

クライアントTelnetセッションの切断によって、SFUのGUIがハングする場合がある

SFUのGUIが開いているときにクライアントTelnetセッションがB2000から強制的に切断されると、SFUのGUIがハングして使用できなくなる場合があります。この問題を解決するには、タスク マネージャを使用してB2000でいったんSFUのGUIを停止してから、もう一度SFUのGUIを開きます。

日本語の文字を含むユーザ名マッピング

NFSサーバのユーザ名マッピングは、日本語の文字を含むWindowsユーザ名やUNIXユーザ名をサポートしていません。

NFSサーバが使用するNFSクライアント グループの名前には、日本語の文字を入れることができません。

Webユーザ インタフェース

この項では、Webユーザ インタフェースのサポートについて説明します。項目は、「WebUIからhttp共有やftp共有を削除できない場合がある」です。

WebUIからhttp共有やftp共有を削除できない場合がある

CIFS、NFS、FTP、およびHTTPプロトコルを使用してWebUIから1つのマルチプロトコル共有を作成すると、共有を削除するとき、WebUIを使用してFTPコンポーネントとHTTPコンポーネントを削除できない場合があります。共有のCIFSコンポーネントとNFSコンポーネントは、削除されます。共有を削除するオプションは、WebUIの[共有]タブにあります。

FTPコンポーネントとHTTPコンポーネントを削除するには、WebUIの[メンテナンス]セクションまで移動して、[ターミナルサービス]オプションを選択します。ボックスにログインし、手動でFTPコンポーネントとHTTPコンポーネントを削除します。

FTP共有を削除するには、以下の手順に従ってください。

1. デスクトップにあるNAS Management Consoleをクリックします。
2. [Core Operating System]を展開します。
3. [Internet Information Services]を展開します。
4. NASマシン名を展開します。
5. [Default FTP site]タブを展開します。
6. 削除する共有の名前を右クリックします。
7. [削除]を選択します。

HTTP共有を削除するには、以下の手順に従ってください。

1. デスクトップにあるNAS Management Consoleをクリックします。
2. [Core Operating System]を展開します。
3. [Internet Information Services]を展開します。
4. NASマシン名を展開します。
5. [Shares]タブを展開します。
6. 削除する共有の名前を右クリックします。
7. [削除]を選択します。

NASのWebユーザ インタフェース

この項では、NASのWebユーザ インタフェースのサポートに関する次の項目について説明します。

- ターミナル サービスからVBScripエラーが返される、10ページ
- NTFSマウント ポイントの管理、10ページ
- WebUIに孤立した共有が表示され続ける、10ページ
- システム マネジメント ホームページが英語で表示される、11ページ

ターミナル サービスからVBScripエラーが返される

クライアントにNAS Serverとの信頼違反がある場合、WebUIからターミナル サービスを使用するとVBScrip エラーになる場合があります。この原因は、Internet Explorerの設定です。DNS Serverによる名前の解決を使用する代わりにIPアドレスを使用すると、NAS Serverとブラウザ間の信頼が壊れます。Internet Explorerは、信頼していないWebサイトからActiveXコントロールを受け付けません。

1. クライアント マシンで、Internet Explorer 5.5以上を開きます。
2. メニューから、[ツール]、[インターネット オプション]の順に選択します。
3. [セキュリティ]タブをクリックし、[信頼済みサイト]を選択し、[サイト]ボタンをクリックします。
4. 信頼するサイトのリストにNAS Serverのサイトを追加し、設定を保存します。

以上で、ActiveXサービスが動作します。

NTFSマウント ポイントの管理

現在、Webユーザ インタフェースには、NTFSマウント ポイントを管理する機能がありません。NTFSマウント ポイントを作成したり、管理するには、ターミナル サービスを使用する必要があります。ターミナル サービスを開始するには、メニューで[メンテナンス]、[ターミナル サービス]の順に選択します。

WebUIに孤立した共有が表示され続ける

Windows 2000では、共有が入っているディスクを削除すると、ファイルシステムに孤立した共有が残ります。孤立した共有は、削除されるか、システムまたはサービスが再起動されるまで、WebUIに表示され続けます。

処置

システムから孤立した共有を削除するには、3つの方法があります。方法1と方法2では、サービスが中断されます。

1. Serverサービスを再起動する。
 - a. B2000へのWebインタフェースを開きます。
 - b. [メンテナンス]、[ターミナル サービス]の順にクリックし、ログインします。
 - c. [マイ コンピュータ]アイコンを右クリックし、[Manage]を選択します。
 - d. 管理ツリーの[サービス]部分を開きます。
 - e. [Server]サービスを選択し、[再起動]を右クリックして選択します。

2. B2000を再起動する。
 - a. Webインタフェースを開きます。
 - b. [メンテナンス]、[シャットダウン]、[再起動]の順に移動します。
 - c. [OK]をクリックして、B2000を再起動します。
3. 共有ドライブと共有フォルダを再作成し、各共有を削除する。
 - a. B2000へのWebインタフェースを開きます。
 - b. [メンテナンス]、[ターミナル サービス]の順にクリックし、ログインします。
 - c. ディスクを作成し、孤立した共有と同じドライブ文字にマップします。
 - d. 孤立した共有へのパスを再作成します。
 - e. 共有を削除します。

システム マネジメント ホームページが英語で表示される

システム マネジメント ホームページの表示言語は、Compaq基本エージェント、Compaq Webエージェント、Compaqバージョン コントロール エージェント、Surveyorサービスを開始する順序に依存します。WebUIからアクセスしたり、<https://localhost:2381>から直接アクセスしたときシステム マネジメント ホームページが英語で表示される場合は、C:\¥Compaq¥ElmRestart.vbsスクリプトを実行して、正しい順序でサービスを再起動してください。このスクリプトは、上記の各サービスを停止し、次の順序で開始します。

- Compaq基本エージェント
- Compaq Webエージェント
- Compaqバージョン コントロール エージェント
- Surveyorサービス

上記のサービスを正しい順序で再起動し、ブラウザを再起動すると、システム マネジメント ホームページが正しく日本語で表示されます。

Microsoft社製オペレーティング システム

この項では、Microsoft社製オペレーティング システムのサポートについて説明します。項目は、「イベント ログのイベント ログ メッセージ」です。

イベント ログのイベント ログ メッセージ

システムの再起動時にサービスが開始するとき、他のサービスの開始を待つ必要のあるサービスは最初に失敗する場合があります。イベント ログにメッセージが記録されますが、サービスが再起動したら無視できます。メッセージには、以下に関連したサービスが含まれています。

MSFTPSVC

ソース (MSFTPSVC) のイベントID (105) の説明が見つかりませんでした。おそらく、ローカル コンピュータに、リモート コンピュータからのメッセージを表示するために必要なレジストリ情報やメッセージDLL ファイルがありません。Microsoft Knowledge Based Article Q240779を参照してください。

W3SVC

ソース (W3SVC) のイベントID (105) の説明が見つかりませんでした。おそらく、ローカル コンピュータに、リモート コンピュータからのメッセージを表示するために必要なレジストリ情報やメッセージDLL ファイルがありません。Microsoft Knowledge Based Article Q240779を参照してください。

Userenv

Windowsが、ユーザ名またはコンピュータ名を決定できません。戻り値は、1722です。Microsoft Knowledge Based Article Q261007を参照してください。

Perfdiskエラー

open関数で時間違反があったため、WMI ADAPはPerfDiskパフォーマンス ライブラリを処理できません。Microsoft Knowledge Based Article Q266416を参照してください。

クイック リストア プロセス

ここでは、クイック リストア プロセスのサポートについて説明します。項目は、「ドライブの構成」です。

ドライブの構成

クイック リストア プロセスは、StorageWorks NASシステムに含まれているオペレーティング システムドライブをリストアするプロセスです。オペレーティング システム ドライブは、スロット0とスロット1にインストールされている2台の36GBドライブから構成されます。2台の36GBドライブの構成を変更すると、クイック リストア プロセスが正常終了せず、次のエラーになります。

クイック リストアで、システムのハードウェア障害が検出されました。

デフォルトの構成を以下に示します。

アレイA: 3つの論理ドライブと、スロット0とスロット1の2台の物理ドライブから構成されます。

論理ドライブ1:

RAID: 1

サイズ: 16339MB

セクタ: 32

ストライプ サイズ: 256

アレイ アクセラレータ: 有効

論理ドライブ2:

RAID: 1

サイズ: 16339MB

セクタ: 32

ストライプ サイズ: 256

アレイ アクセラレータ: 有効

論理ドライブ3:

RAID: 1

サイズ: 2047MB

セクタ: 32

ストライプ サイズ: 256

アレイ アクセラレータ: 有効

注: アレイAの構成は、変更しないことをおすすめします。

アレイと論理ドライブの構成が変更され、クイック リストアが正常に動作しない場合は、アレイ コンフィギュレーションユーティリティを使用して、上記のようにドライブを構成してください。アレイ コンフィギュレーションユーティリティは、StorageWorks NASシステムに付属しているSmartStart CDでシステムを起動すると使用できます。



警告: 別のシステムで構成されていたドライブと、オペレーティング システム ドライブを交換しないでください。不良ドライブを交換するには、フランクの何も構成されていないドライブだけを使用してください。必要なら、別のシステムにドライブをインストールし、ACUを使用してドライブの構成を削除してください。

リリースノート

この項では、以下のリリース ノートに関する情報について説明します。

- ネットワーク インタフェースのWebUIページの表示が遅い、14ページ
- PSMが、障害があるスナップショットに対してエラー メッセージを返さない、15ページ
- PSMが、イベント ログに正しくないメッセージを記録する場合がある、15ページ
- ターミナル サービスが正しく終了しない、15ページ
- WebUIで、リモートInsightボードLights-Out Edition IIがサポートされていない、15ページ
- リモートInsightボードLights-Out Edition Iが、更新されたホスト名とIPの設定を受け付けない、16ページ
- PSMが作成するキャッシュ ファイルが大きすぎて、ボリュームをマウントできない、16ページ
- ターミナル サービスからNICチーミングを構成できない、16ページ
- Webユーザ インタフェースに、無効になっているネットワーク カードが表示されない、16ページ
- ラピッド スタートアップが応答しなくなる、16ページ
- ホスト名を変更しても、ブラウザのアドレス バーが更新されない、17ページ
- ホスト名を変更すると強制的に再起動されるが、再起動ページが更新されない、17ページ
- ネットワーク インタフェースのアドレスをDHCPから静的に変更すると、ページに戻らない、17ページ
- Webユーザ インタフェースでネットワーク ポートをDHCPに設定すると、IP接続のメトリックが更新されない、17ページ
- クイック リストア中に、ドライブ ボリューム文字に新しいドライブ文字が割り当てられる場合がある、17ページ
- Webユーザ インタフェースの[クォータ エントリ]ページにクォータ エントリが表示されない、17ページ
- データ ドライブを取り外したり、データ ドライブが故障すると、クイック リストアが失敗する、18ページ
- システムを再起動しても、ディスク起動が有効になっている、18ページ
- PSMが10TBしかサポートしていない、18ページ
- ラピッド スタートアップで管理者パスワードが更新されない、18ページ

ネットワーク インタフェースのWebUIページの表示が遅い

ネットワークを管理するためのWebページの表示には、時間がかかります。Webユーザ インタフェースから[Network Interface]タブをクリックし、このタブでいずれかの操作をクリックすると、ページが表示されるまでに1分程かかる場合があります。設定をより効率的に行うために、[メンテナンス]タブにある[ターミナル サービス]の使用をおすすめします。HPは、Microsoft社と共同でこの問題の解決に取り組んでいます。

PSMが、障害があるスナップショットに対してエラーメッセージを返さない

Webユーザ インタフェースを使用してスナップショットを作成し、スナップショットの障害が発生しても、Webページには情報が表示されません。ユーザは、アプリケーション ログやシステム ログを参照して、PSM障害が発生したかどうかを確認する必要があります。また、Webユーザ インタフェースのステータス ページに、上限を超えたときにPSMが生成するエラーが表示される場合があります。

PSMが、イベント ログに正しくないメッセージを記録する場合がある

キャッシュ ファイルのスペースが不足すると、関連のないメッセージがイベント ログに記録されます。「この下にあるドライブが故障しました。」が表示されます。これは、キャッシュ ファイルのスペースが不足していることを示しています。この問題を解決するには、キャッシュ サイズを増やすか、スナップショットを削除してください。

ターミナル サービスが正しく終了しない

特定の操作（ACUを使用したドライブ管理など）では、ブラウザを終了したとき、ユーティリティが動作状態のままに残る場合があります（正しい方法は、アプリケーション メニューからプログラムを終了するか、Terminal Serverセッションからログオフする方法です）。ACUの場合、次のいずれかを実行するまでドライブ ランプが点滅し続けます。

1. Webユーザ インタフェースの[ディスク]にあるリンクを使用してもう一度ACUにアクセスし、アプリケーションを正しく終了する。
2. Terminal Serverで孤立したTerminal Serverセッションを終了し、孤立したアプリケーションを終了する。デフォルトのタイムアウトは15分に設定されていますが、ACUが終了するには最大30分かかります。デスクトップまたはTerminal Serverセッションを使用してStorageWorks NAS MMCにアクセスし、接続プロパティにある[Terminal Services Configuration]タブで、この値を調整できます。

Terminal Serverセッションが正しく終了しないと、他のアプリケーションが孤立化する場合があります。

注: 一度に使用できる最大Terminal Serverセッション数は、2です。セッションが正しく終了しないと、セッション数が減りません。

[スタート]メニューから、[プログラム]、[管理ツール]の順に選択し、[Terminal Services Manager]を選択すると、セッションやプロセスを終了することができます。

WebUIで、リモートInsightボードLights-Out Edition IIがサポートされていない

B2000では、リモートInsightボードLights-Out Edition IIのサポートは、起動時にF8キーを押すコンソールアクセスと設定用のRilo Webインタフェースに制限されています。リモートInsightボードLights-Out Edition IIには、Webアクセスでセットアップする場合のために、デフォルトのユーザ名、パスワード、DNS名を記載した識別タグが付いています。現在、HPは、WebUIにリモートInsightボードLights-Out Edition IIのサポートを追加する作業に取り組んでいます。

リモートInsightボードLights-Out Editionが、更新されたホスト名とIPの設定を受け付けない

これは、WebUIからボードがリセットされないという問題です。ホスト名とIPアドレスを更新したら、リセットする必要があります。ボードをリセットするには、コンソールで**F8**キーを押してボードにアクセスしてTCP/IP設定を保存するか、リモートInsightボードLights-Out Editionから電源を遮断します。Riloボードから電源を遮断するには、10秒間、リモートInsightボードLights-Out Edition外部電源パックとサーバに接続されているすべての電源コードを外す必要があります。

PSMが作成するキャッシュファイルが大きすぎて、ボリュームをマウントできない

キャッシュファイルの比率が高く設定されている大きなボリュームでスナップショットを作成すると、キャッシュファイルが大きくなりすぎて、PSMが正常に管理できなくなる場合があります。このとき、システムを再起動すると、ドライブボリュームがオフラインになります。この状況を防止するには、キャッシュファイルのサイズを慎重に決定し、誤ってファイルが作成された場合は、[ボリューム設定]にアクセスしてキャッシュサイズを減らしてください。システムを再起動したらボリュームが使用できなくなった場合は、`c:\¥winnt¥system32¥serverappliance`にある *CleanVol.exe* ユーティリティを使用できます。問題のボリュームに対して、`"/regfirst"`パラメータを指定して*CleanVol.exe*を実行します。たとえば、E: がマウントできない場合は、次のコマンドを実行します。

```
cleanvol E: /regfirst
```

ターミナル サービスまたはローカル コンソールからボリュームにアクセスすると、リソース不足に関するメッセージが表示されます。

ターミナル サービスからNICチームを構成できない

ターミナル サービスからNICチームを構成するとき、アクセスに使用しているポートがNICチームに属する場合、NICチームが正しくインストールされず、ポートへのアクセスが終了する場合があります。NICチーム用にB2000をセットアップするときは、リモートInsightボードLights-Out Editionまたはローカル コンソールアクセスを使用することをおすすめします。

Webユーザ インタフェースに、無効になっているネットワーク カードが表示されない

ネットワーク カードが無効になっている場合、このネットワーク カードはWebユーザ インタフェースに表示されません。Webユーザ インタフェースにネットワーク カードを表示するには、ターミナル サービスを使用してネットワーク カードを有効にする必要があります。

ラピッド スタートアップが応答しなくなる

NICチームが確立され、ラピッド スタートアップを実行すると、[ネットワーク インターフェース情報] ページが応答しなくなり、ウィザード ページが終了できなくなります。ラピッド スタートアップを終了するには、Webユーザ インタフェースの他のメニュー項目をクリックしてください。

注: ラピッド スタートアップを使用するときは、NICチームを解消する必要があります。

ホスト名を変更しても、ブラウザのアドレスバーが更新されない

Webユーザ インタフェースからホスト名を変更し、サーバを再起動しても、アドレスバーは更新されません。おそらくWebユーザ インタフェースは機能し続けますが、「ページを表示できません。」メッセージやターミナル サービスのスクリプト エラーになる場合があります。問題を解決するには、アドレスバーに新しいサーバ名を入力してください。

ホスト名を変更すると強制的に再起動されるが、再起動ページが更新されない

ホスト名の設定を変更したり、ラピッドスタートアップでホスト名を変更しても、再起動ページが開始ページに更新されません。問題を解決するには、ポート3201またはポート3202 (安全アクセス用) のアドレスバーに新しいホスト名を入力してください。

ネットワーク インタフェースのアドレスをDHCPから静的に変更すると、ページに戻らない

Webユーザ インタフェースを使用して管理用ポートのIP設定を変更すると、現在のアドレスからホストにアクセスできなくなります。この場合、設定は有効になっていますが、[Network Interface]ページのボタンがグレー表示になり、ページに戻りません。Webユーザ インタフェースにアクセスしなおすには、ブラウザをいったん閉じてからもう一度開き、新しく指定した管理ポートまで移動してください。

Webユーザ インタフェースでネットワーク ポートをDHCPに設定すると、IP接続のメトリックが更新されない

ネットワーク カードのIPアドレスをDHCPに設定すると、Web UIの[IPアドレス構成]ページの[詳細]タブにあるIP接続メトリックを設定することができません。IP接続メトリックを変更する場合は[メンテナンス]タブからターミナル サービスを起動し、ネットワーク接続のプロパティを開いて、[Internet Protocol (TCP/IP)]の[プロパティ]から[詳細設定]を開いて設定してください。

クイック リストア中に、ドライブ ボリューム文字に新しいドライブ文字が割り当てられる場合がある

NAS B2000のクイック リストア後、既存のドライブ文字に新しいドライブ文字が割り当てられる場合があります。新しいドライブ文字が割り当てられたドライブに対しても共有は機能しますが、新しいドライブ文字が割り当てられること自体が望ましくない場合があります。ドライブ文字を元に戻すには、[ディスク]タブの[ディスクとボリューム]にアクセスし、問題のドライブを右クリックして[Change drive letter]を選択し、ドライブ文字を編集します。

Webユーザ インタフェースの[クォータ エントリ]ページにクォータ エントリが表示されない

クォータ エントリは[新しいクォータ エントリ]ページで入力できますが、デフォルトのadminアカウントやguestアカウントでは、クォータ エントリが表示されません。また、Webユーザ インタフェースを使用してホスト名を変更すると、ホスト名を変更する前に作成されたクォータ エントリが表示されない場合があります。Microsoft Article 328059を参照してください。入力したクォータを表示するには、[メンテナンス]タブにある[ターミナル サービス]を使用してファイル システムにアクセスし、ボリュームを右クリックし、[クォータ]、[クォータ エントリ]の順に選択するとクォータが表示されます。ホスト名を変更した後でクォータを削除したり、作成すると、項目が復旧されます。

データドライブを取り外したり、データドライブが故障すると、クイック リストアが失敗する

クイック リストア中に内蔵アレイ コントローラから構成したデータドライブを取り外したり、データドライブが故障すると、クイック リストアは「無効なドライブ構成です。」メッセージを表示して終了します。問題を解決するには、取り外したドライブを挿入しなおすか、**F8**キーを押してアレイROMセットアップを使用して内蔵コントローラの構成からドライブを削除するか、SmartStartからアレイ コンフィギュレーションユーティリティを使用してクイック リストアを再実行してください。

システムを再起動しても、ディスク起動が有効になっている

Webユーザ インタフェースには、B2000でディスク起動が有効になっているときにオペレーティングシステムを再起動すると、ディスク起動が無効になると表示されます。B2000の場合、システムを再起動しても、ディスクは無効になりません。

PSMが10TBしかサポートしていない

B2000が最大27TBをサポートしていても、PSMのサポートは、スナップショットが存在する場合、最大10TBのディスク容量に制限されています。サポートされるディスク容量を制限する内蔵メカニズムが存在しないため、PSMは、10TBを超える製品を使用しても警告を発行しません。ディスク容量が10TBを超える場合は、スナップショットを使用しないことをおすすめします。HPは、Columbia Data Productsと共同で、この最大値を増やす作業に取り組んでいます。

ラピッド スタートアップで管理者パスワードが更新されない

ユーザがラピッド スタートアップ中に[次へ]をクリックしてから[Admin Password]画面まで移動すると、画面の[Password]フィールドには"*****"が表示されますが、システムで管理者パスワードは更新されておらず、空白のままになります。このフィールドにパスワードを入力すると、パスワードが設定されます。ラピッド スタートアップ後に管理者アカウントのパスワードを設定するには、2つの方法があります。Webユーザ インタフェースの[開始]を選択してから[管理者パスワードの設定]で設定するか、またはWebユーザ インタフェースの[ネットワーク]を選択してから[管理者]タブで設定します。